

令和3年度ごみゼロやまがた推進県民会議県民部会議事録

《日時》

令和4年2月24日（木）13時30分～14時50分

《場所》

Web会議（Zoom）

《出席委員》（※副会長、委員名簿順）

佐藤法子委員（副会長（部会長））、池田香委員、大城啓委員（代理：桜井善彦氏）、岡崎恵子委員、河合麻衣委員、笹原美百紀委員、高見佳澄委員、細谷由紀委員、横尾知子委員 計9名

《県民部会》

1 開会

2 あいさつ（佐藤部会長）

3 議事（座長：佐藤部会長）

(1) 報告

- ① ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について
【各委員】（資料1により報告）

【事務局】（欠席委員報告分について、資料1により報告）

(2) 協議

- ① 令和4年度「ごみゼロやまがた県民運動」（家庭編）展開方針（案）について
【事務局】（資料2により説明）

<質疑・意見等>

【池田委員】

ごみゼロに関しては、だいぶ普及はしているが、ひと手間かけないとなかなかごみゼロに繋がらない。例えば値引きして売るなど、消費者にもメリットがあるような項目があってもよいのかと思う。

【事務局】

消費者の意識を変えていただくのが行政の仕事であり、消費者に直接何かを還元することは施策的に難しいと思うが、どんなことを行政としてできるか、引き続き検討していきたい。

【桜井氏】

山形市でも市民団体との連携は密にして、市民にいかにしてうまく伝えられるか

努力しながら啓発していきたい。

【岡崎委員】

もったいない山形協力店は実際にお店に行った時に、ステッカーが貼ってあるなど分かるようになっているのか？

ごみゼロくんを目にすることが最近少ないと思う。子どもたちも大好きなので、スーパーなど色々な所に出るともっと興味を持たれると思う。

【事務局】

- ・もったいない山形協力店について

ポスター及び小さなのぼり旗を登録したお店に送付し、追加してほしいとの要望があれば、その都度追加で送付している。ただし、レイアウトの都合などもあり、貼るかはお店の判断となる。

ご意見いただいたので、ポスター・のぼり旗以外にもアピールする方法がないか検討していく。

- ・ごみゼロくんの着ぐるみについて

ごみゼロに関係するイベント等であれば広く貸し出しを行っているが、コロナ禍の中イベントも少ないため、貸し出しも少ない状況。

例年5月30日のごみゼロの日に大型商業施設での街頭キャンペーンなども実施していたが、今後もコロナ禍の中、可能な限り貸し出しやイベント出展など行っていきたい。

【河合委員】

昨年より見やすく、工夫されて作っていただいたと思う。新たな取組みとして、「てまえどり」や「ファッションロス削減」なども追加していて、この内容でよい。

本県の一人一日当たりのごみ排出量が全国20位だが、確か10年ほど前はもっと上位にいたと思う。何か理由があって下がったのか教えていただきたい。

【事務局】

ごみの排出量の減少具合が全国に比べると山形県は緩やかな状況であり、相対的に順位が落ちてきた。比較するのは難しいのですが、山形県ももっと頑張って県民に啓発していきたい。

【笹原委員】

大変すばらしい展開方針案だと思う。

食品ロス削減のところで、もったいない山形店の所に※印があり、お店は県のホームページで！となっているが、環境にやさしい料理レシピも同じように※印があり、レシピはホームページで、となっているとわかりやすいと思う。

【事務局】

展開方針の中に、レシピコンテストのQRコードを入れたいと思う。

【細谷委員】

大変見やすくわかりやすくなったと感じる。

ごみゼロくんの写真が、手前にごみがあり後ろも緑でいいのだが、ここだけ写真なので、イラストの方がいいのではないかと思う。

資源回収については、コロナ禍であまりできていないような状況だが、資源回収を利用することはとても大切なことなので、この内容でよい。

【横尾委員】

見やすく色もはっきりしていてよい。

てまえどりやファッションロスなども、やはりこれからは、取組んでいかなければいけないとチラシを見て思った。

【佐藤委員】

ぱっと見てすごく見やすく、何を訴えたいかというのも解りやすく、すごくいいと思う。

「SDGs」が一般の人にはまだまだ馴染みがないと思うので、一番上の6つの関わりの横に「SDGs」という言葉も入れた方がいいのではないかと思う。できればSDGsが何なのかなどもあればもっと分かりやすいので、何かSDGsを使った文言など入れてもいいのではないかと思う。

【佐藤部会長】

県民運動（家庭編）の展開方針案については、私に一任いただき事務局と調整のうえ修正を行い、総会に提出することとしてよいか。

【各委員】

異議なし（了承）

② 令和3年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について

【事務局】（資料2により説明）

<質疑・意見等>

【池田委員】

コロナ禍ではあるが、小規模にするなり、せつかく決めたキャンペーンなので、実施していただきたいと思う。

【桜井氏】

コロナ禍で今までイベント等ができない中、今年度から山形市でも徐々にやれるところからやっていくよう取り組んでいるので、なるべく実施していくような形で取り組んでいきたい。

【岡崎委員】

コロナの状況で大きく左右されると感じているが、なんとかやれるような方法を考え、頑張っていたきたい。

【河合委員】

新たにてまえどりの啓発活動なども取り組んでいただき、非常に楽しみな活動が増えたと思う。

【笹原委員】

てまえどりなど食品小売店やスーパー・コンビニの協力が不可欠と思う。

スーパー等で買い物をしていると、賞味期限や消費期限が迫っている物のコーナーを設け、値下げして販売しているが、その中で「ごみ削減に協力しよう」という文言を張って置いてあるスーパーがあり、それを見た時に、そうか「ごみ削減につながるんだ」と思った。

そういった取り組みも依頼して協力もらおうと、ごみ削減にもつながるのではないかと思う。

【事務局】

今回、てまえどりを県内のコンビニエンスストアやスーパーマーケットに、県でポップ広告を作り配布する予定にしている。その中で、今ご意見があったようなことも、各お店又は店舗事業者伝えていきたい。

【細谷委員】

活動内容に対しては、楽しみです。皆様と同様、コロナの状況によって色々変動していくと感じている。やれる範囲でやれるところを探りながら、皆さんで協力してやっていければと思う。

【横尾委員】

今年度のやまがた環境展のホームページを見て、色々工夫されて、内容も面白かった。今年もコロナがどうなるかわからないが、大変かと思いますが、楽しみにしている。

【佐藤部会長】

「てまえどり」という文言は一般的で、よく使われる言葉なのか。

【事務局】

使われ始めたのはまだ、1，2年だが、国でもこの「てまえどり」という手前から食品を取るという行動を国民に広げようと、環境省や消費者庁が中心になって、幅広い呼びかけを始めている。

昨年度から、一部の都道府県や市町村でも、こうしたポップを作ってお店に配布する事業が少しずつ始まっており、まだ馴染みがない方も多いと思うが、県としてもぜひ消費者のライフスタイルを変えるための1つの手法として使っていきたい。

【佐藤部会長】

お子さんにも響く言葉かと思う。鳥のキャラクターなどを描いて、てまえどりって書くと、インパクトがあるかななどと思って説明を聞いていた。

【佐藤部会長】

各委員の意見を踏まえ、ごみゼロやまがた県民運動の活動内容の修正についても、私に一任いただき事務局と調整のうえ、総会に提出することとしてよいか。

【各委員】

異議なし（了承）

(3) その他

【事務局】 展開方針の各団体における周知状況の照会について

4 その他

なし

5 閉会